



医療法人社団 湧泉会

ひまわり歯科

YUSENKAI MEDICAL CORPORATION

HIMAWARISHIKA REPORT 2023

■ はじめに

こんにちは、院長の岡本です。

このたび医療法人社団湧泉会では、昨年1年間の取り組みをまとめた『湧泉会アニュアルレポート2023』を作成いたしました。

かつて歯科診療所はコンビニエンスストアよりも数が多いと言われていましたが、それも過去の話となりそうです。なぜならば日本の歯科診療所は60歳代の院長（開設者）が最も多い割合を占めており、現在現役で働いておられる院長たちが今後2030年～2040年頃にかけて70代～80代の高齢となり、閉院する歯科診療所が急増すると予想されるからです。

日本全体でみると2040年には全人口の35%以上が65歳以上の高齢者となり、労働力人口の減少と、社会保障費の増加、国内のインフラの老朽化といった「2040年問題」が予想されており、歯科業界においても歯科医療機関の需要は現在以上にニーズが高くなる一方で歯科医療機関数は激減すると言われています。日本のどこにいても生活圏内にある歯科診療所にかかれていたのが今後は容易にかかれなくなる地域も発生するかもしれません。

日本歯科医師会では今後このような事態が予想されることに対して医科歯科連携や歯科診療所同士の連携を図ったり、働き方改革を進めることで女性歯科医師の活躍の場を増やしたりという対策を進めていますが課題も多いのが現状のようです。

湧泉会としても「2040年問題」に対応するために地域の社会資本として情報公開することで当院の機能を多くの機関に活用していただきたく今回のアニュアルレポートを作成することを決断いたしました。

当院は「地域支援型多機能歯科診療所」として、歯科医師不足対応のために女性歯科医師の雇用に特に力を入れています。また、自身の診療所は老朽化などの理由で閉院したが勤務医としてならば、まだ十分に働ける高齢歯科医師の雇用も率先して進めています。

全身疾患を持ち歯科治療にリスクのある患者の受け入れも積極的に行い、地域の一般的な歯科診療所の後方支援になればと取り組んでいます。

専門性の高い歯科医師の雇用と勤務歯科医師のキャリアアップや研修歯科医師の教育などにも取り組み、次世代の歯科医師育成にも力を入れてきました。

また歯科医療の枠にとらわれず地域住民の方々の健康増進に関われるように市民向け啓発セミナーやコミュニティカフェの運営そして、だれでも気軽に健康相談のできる「暮らしの保健室すまいる」を開設してきました。

湧泉会は、人生100年時代を出来るだけ長く健康に過ごせるようサポートしながら人生の終わりまで『食べる』を楽しめるお手伝いをさせていただき100年先まで地域から必要とされ続ける診療所であることを目指したいとスタッフと共に考え取り組んでいきます！



院長・理事長 岡本 佳明
YOSHIAKI OKAMOTO



目次

沿革

OUR HISTORY

医療法人社団湧泉会ひまわり歯科の25年 3

行動規範と事業計画

PHILOSOPHY

基本理念 5

基本的価値観/行動指針 5

存在意義 5

組織と体制

STRUCTURE

診療拠点 6

従業員数 6

管理患者数の推移 7

訪問歯科診療 7

地域連携

LOCAL COOPERATION

地域連携 8

学会発表・講演活動 10

外部と連携して新しく挑戦すること 11

ひまわり歯科の「人」 12

OUR HISTORY

沿革

■ 医療法人社団湧泉会ひまわり歯科の25年

1999- ○ 1999年1月11日開業

- ♡ インプラント治療開始
- ♡ 女性の働きやすい環境整備
- ♡ 歯科矯正治療開始
- ♡ 静脈内鎮静下歯科治療開始
- ♡ ISO9001取得
- ♡ 保育士による託児開始



2010- ○ 医療法人化(医療法人社団湧泉会)

- ♡ 訪問歯科診療開始
- ♡ ひまわり歯科現所在地へ移転
- ♡ 院内託児所「COCOランド」運営開始
- ♡ 企業風土…「ひまわり村」という助け合いの風土を育成
- ♡ 新館増築
(障がい者歯科・小児歯科・口腔外科・矯正歯科などを充実)
- ♡ 3つのコンセプト ①教育②地域③働き方
- ♡ 日本障害者歯科学会臨床経験施設
- ♡ 厚生労働省指定歯科医師臨床研修施設(単独型・管理型)
- ♡ 医療的ケア児訪問診療開始
- ♡ 暮らしの保健室すまいる
- ♡ 全身麻酔下歯科治療開始
- ♡ 研修医用社宅完成
- ♡ 【4STORY 7GOAL's】【3つの医療目標】
- ♡ 地域支援型多機能歯科診療所
(いわゆる1.5次歯科診療所)



2020-

- ♥ デジタル歯科診療の進化
- ♥ 人生100年対応歯科診療所を目指す
- ♥ 「ひまわりカフェ×タニタカフェ」運営開始
- ♥ 認定栄養ケア・ステーション
- ♥ 次世代の歯科医療従事者の育成機関機能の充実化
- ♥ 歯科検査部門運営開始
- ♥ 「食べれる外来」診療開始
- ♥ 山間部・離島診療サポート事業開始
- ♥ イノベーション事業
- ♥ 一般企業と食事用マスクの共同開発販売
(コロナ感染予防事業)
- ♥ NPO団体「日本こうくう医療協会」を立ち上げ
- ♥ 日本障害者歯科学会専門医研修施設
- ♥ 日本歯科麻酔学会準研修機関



2030-

過去から現在そして未来へ、
 私たちは患者様のことを第一に考え、
 従業員やその家族と仲間たちの幸せを守る医院風土を育み
 社会に貢献し必要とされ続けることにチャレンジし続けます。



PHILOSOPHY

行動規範と事業計画

■ 基本理念

お口の元気から始まる、一生の健康と笑顔のお手伝いをいたします。

■ 基本的価値観／行動指針

- ① 自分が患者様だったら、ということ想像して行動します。
- ② 地域住民の方々の歯科医療知識の向上を目指します。
- ③ 限られた資源と時間の中で最高の医療サービスを心がけます。



■ 存在意義

① 教育機関

次世代の医療人材の教育、育成を行い「人」が成長し「人材」を輩出する機関を目指します。

② 社会資本

「笑顔100年つながり愛」をコンセプトに、単なる医療行為に留まらず、人生と健康に深く関わりながら、人々のつながりと共に笑顔を創出する組織を構築します。

③ 組織風土

女性をはじめ、多様な背景を持つ人々が、仕事と生活、そして人生を共有するための空間を提供します。

新しい時代の職場環境は、「長屋文化」や

「ひまわり村」のような生活共同体の精神を持ち込み、

独自の組織風土を築くことを目指します。



STRUCTURE

組織と体制

診療拠点



従業員数

歯科医師

38名



歯科衛生士

31名



歯科助手

6名



受付

6名



歯科技工士

4名



保育士

10名



管理栄養士

7名



医師(麻酔専門医)

1名



看護師

6名



メンタル
コンサルタント

1名



事務部門

10名

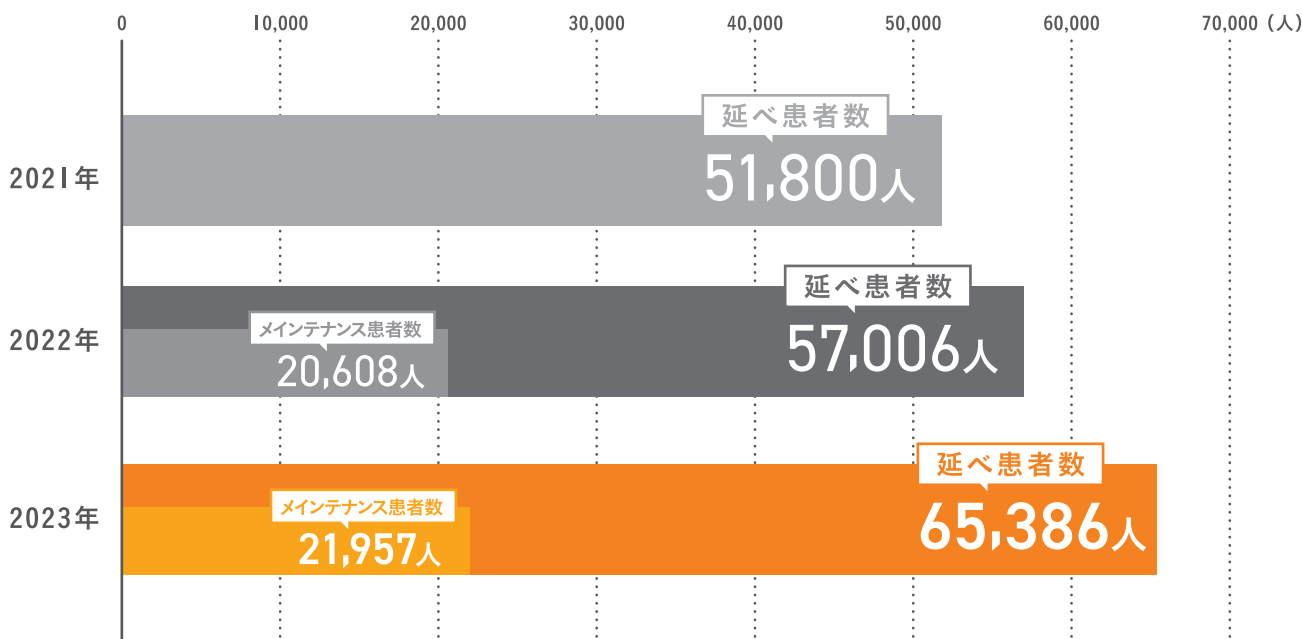


清掃スタッフ

5名



管理患者数の推移



医科歯科連携件数

554人

診療情報
提供料 |
算定人数 224人

診療情報
連携共有料
算定人数 178人

口腔機能
管理料
算定人数 152人



全身麻酔
静脈内鎮静

129回 | 61人



障がい者・有病者
治療困難患者

5,909回 | 1,478人

訪問歯科診療



訪問診療回数
2023年 4,127回

在宅への訪問回数
2023年 3,309回

LOCAL COOPERATION

地域連携

地域連携



医科

病院

安芸市民病院
愛媛県立中央病院
太田川病院
呉共済病院
県立広島病院
JR広島病院
市立三次中央病院
済生会広島病院
たかの橋中央病院
土谷総合病院
広島厚生病院
広島市立北部医療センター安佐市民病院
広島市立広島市民病院
広島赤十字・原爆病院
ヒロシマ平松病院

福山市民病院
松石病院
マツダ病院
山本整形外科病院
吉島病院

診療所

あいクリニック
あおさきこども心療所
秋本クリニック
岡村医院
おおや耳鼻咽喉科
片桐整形外科
海田心療内科メンタルクリニック
海田よつ葉クリニック
金谷医院
金谷整形外科クリニック
川上内科クリニック

菊川皮ふ科医院
くるしま内科循環器クリニック
幸田内科医院
こさか内科
すぎた皮膚科アレルギー科
高橋内科呼吸器クリニック
たにクリニック
ちえ内科医院
津丸内科医院
寺沢耳鼻咽喉科医院
虹の子どもクリニック
野島内科医院
はるた呼吸器クリニック
深坂内科循環器科医院
細田小児科医院
ほーむけあクリニック
まんたに心療内科クリニック
陸上自衛隊海田市駐屯地医務室



歯科診療所

あいあい歯科クリニック
有田歯科医院
Wellかむ矯正歯科
おがた小児歯科医院
かいた駅前歯科
香川矯正歯科クリニック
コアラ小児歯科
GOSI矯正歯科

児玉歯科医院
こにし歯科医院
ダイヤモンドシティ歯科
田部矯正歯科
タマガワ矯正歯科クリニック
ティースマイル矯正歯科
寺谷歯科医院
とまと歯科クリニック
長畑歯科医院
にしはら歯科

パセーラデンタルクリニック
はなの歯科クリニック
広島タワー歯科・矯正歯科
まえはら歯科クリニック
宮本歯科医院
やまなか歯科医院
やまの矯正歯科クリニック
吉岡デンタルキュア
ローズクリニック

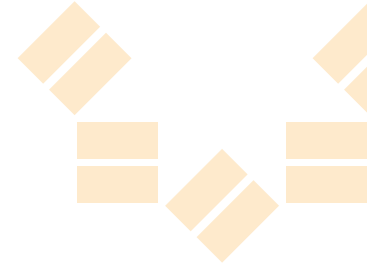


大学病院

岡山大学病院

九州歯科大学病院
昭和大学歯科病院
東京医科歯科大学病院

広島大学病院
福岡歯科大学医科歯科総合病院



高齢者施設

安芸ひまわり
エバーグリーンホーム
カープヒルズ広島矢野
ケアハウス安芸
光清苑

小規模多機能型居宅介護 響
シルバーホームはたのリハビリ
ソーシャルハウス灯台
たかね荘こやうら
ダーラナやの・くにくさ
チェリーゴード
灯台

はたのリハビリふるさと
はまな荘
ほほえみ有料老人ホーム矢野
メリィハウス庚午北町
りは・くにくさ
隣ご縁熊野
レスパイトケア住マイル安芸

居宅介護支援事業所

あいおい居宅
あいりは在宅相談室広島南
安芸地区医師会居宅介護支援事業所
安芸地区医師会府中町居宅介護支援事業所
いでしたケアプランセンター広島南
宇品くにくさ居宅介護支援事業所
おうち病院居宅介護支援事業所
カイゴの窓口東
かしのき会居宅介護支援事業所
神田山長生園 介護プランニング
きありの居宅介護支援事業所
居宅介護支援事業所あおいくま

居宅介護支援事業所エバーグリーン
居宅介護支援事業所光清苑
居宅介護支援事業所こごもり
居宅介護支援事業所さいせい
居宅介護支援事業所しらゆり
居宅介護支援事業所中野
居宅介護支援事業所羽ばたき
居宅介護支援事業所ピジデ
居宅介護支援事業所ピース
居宅介護支援事業所府中みどり園
居宅介護支援事業所筆の都
居宅介護支援事業所やすらぎ
くにくさ居宅介護支援事業所
コスモス園天応居宅介護支援事業所

瀬野川居宅介護支援事業所
十日市居宅介護支援事業所
NTTグループケアポート広島居宅介護支援事業所
ニチイケアセンター江波
ニチイケアセンターさか
のぞみ整形外科ヒロシマ居宅介護支援事業所
はたのリハビリ居宅介護支援事業所
はたのリハビリふるさと居宅介護支援事業所
ハーモニーケアプランセンター
ひびき居宅介護支援事業所
ひらまつ居宅介護支援事業所
古川病院居宅介護支援事業所
有限会社福祉計画研究所
洋光台バラ苑居宅介護支援事業所

障がい者施設

時計台障害者支援施設
ユキ園

生活介護事業所

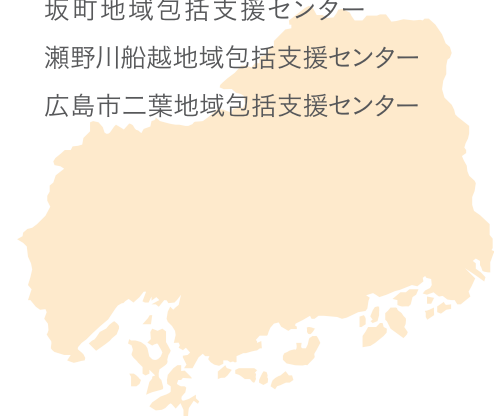
あべにーる南観音

地域包括支援センター

海田町地域包括支援センター
広島市阿戸・矢野地域包括支援センター
坂町地域包括支援センター
瀬野川船越地域包括支援センター
広島市二葉地域包括支援センター

口腔保健センター

広島口腔保健センター



学会発表・講演活動 (2023年)

🦷 日本障害者歯科学会シンポジウム

「地域支援型多機能歯科診療所における障害者歯科が果たす役割」

「女性が活躍する歯科医院での取り組み」 **樋山 めぐみ(歯科医師)**

🦷 日本障害者歯科学会シンポジウム

「小児在宅歯科 次のステージを切り拓くために」「小児在宅歯科 現場の実際」 **村田 尚道(歯科医師)**

🦷 日本障害者歯科学会

「視覚支援と行動変容法が効果をあげた自閉スペクトラム症患者の一例」 **大槻 昇平(歯科医師)**

「異常絞扼反射を有する患者に対して全身麻酔下で全顎的治療を行った一例」 **渡邊 みな(歯科医師)**

🦷 日本口腔検査学会

「1次歯科医療機関の簡易歯周病検査として唾液検査用装置(SillHa)は有用か」 **佐々木 梨乃(歯科医師)**

🦷 日本歯科麻酔学会

「『地域支援型多機能歯科診療所』(1.5次歯科診療所)に向けた当院の取り組み」 **西中村 亮(歯科医師)**

🦷 海田町地域包括支援センター×広島銀行×ひまわり歯科

「『健康寿命』への取り組みと備え」 **船木 泰佑(歯科医師)**

🦷 青春出版社

「『偏食の教科書』日本会食恐怖症克服協会代表理事 山口健太著 監修」 **藤井 葉子(管理栄養士)**

🦷 福山地区歯科衛生連絡協議会 **村田 尚道(歯科医師)**

🦷 在宅療養者に対する歯科医療推進事業研修会 **村田 尚道(歯科医師)**

🦷 岡山市保健所 特定給食施設栄養管理研修会 **村田 尚道(歯科医師)**

🦷 プライマリケア研究会 **村田 尚道(歯科医師)**

🦷 広島市立広島特別支援学校 校内全体研修会 **村田 尚道(歯科医師)**

🦷 パール歯科(浜田市)勉強会 **村田 尚道(歯科医師)**

🦷 倉敷市難病研修会 **村田 尚道(歯科医師)**

🦷 医薬懇話会 **村田 尚道(歯科医師)**

🦷 浅口医師会 研修会 **村田 尚道(歯科医師)**

🦷 岡山大学歯学部臨床講義 **村田 尚道(歯科医師)**



■ 外部と連携して新しく挑戦すること

🦷 DX化に向けたIT企業との共同開発



VRゴーグルを利用した訪問診療などへの導入

🦷 歯科医師が海外で在宅勤務



現役女性歯科医師が、現場とつながり続ける。重症化予防の時代において、患者に直接触れることだけが医療行為ではなく、画面越しでの問診、予防指導も重要な医療となる。

🦷 邑南町の歯科医療支援



離島・山間部診療への足掛かりとしての支援。歯科医師不足に苦しむ地域へ歯科医療チームの派遣を行うことで、広域での医療連携体制の構築を行う。

🦷 全身麻酔による歯科治療の更なる普及



障がい児・者や歯科治療恐怖症患者などが安心して歯科治療を受けられるための土台作り。

🦷 ワークライフインテグレーションの実現



多様化する生活様式へ対応することによる、従業員満足度の向上。

🦷 摂食・嚥下研究会の有料オンラインゼミの開始



「摂食・嚥下治療」という分野において、地域を超えたネットワークの構築と知識の共有を行う。

ひまわり歯科の「人」

樋山 めぐみ (歯科医師)

略歴

- 2006年 広島大学歯学部卒業
- 2007年 ひまわり歯科(現医療法人社団湧泉会ひまわり歯科)入社
- 2014年 日本障害者歯科学会認定医取得
- 2022年 総合歯科学会シンポジスト
シンポジウム 「治療症例に学ぶ Reflection on Clinical Action」
「ある知的障害者との15年の診療を振り返る」
- 2023年 日本障害者歯科学会シンポジスト
シンポジウム 「地域支援型多機能歯科診療所における障害者歯科が果たす役割」
「女性が活躍する歯科医院での取り組み」
- 現在 医療法人社団湧泉会ひまわり歯科 理事 副院長 外来長 障がい者歯科部門長



私は学生時代の授業で障がい者の歯科治療に興味を持ったことをきっかけに、15年以上障害者歯科に取り組んで参りました。障がいに配慮した歯科診療はそれなりに取り組んできたつもりですが、やればやるほど、患者様が暮らしているこの地域のことを無視しては成り立たないと実感しております。

その中の一つの経験ですが、40代の自閉スペクトラム症の患者で、元の歯は抜け落ちてしまい、入れ歯を作ったのですがなかなか口の中にはめていこともできず、食事の際にもむせたり戻したりするなど食形態の配慮が必要になってきた方がおられました。入れ歯は使えない中、食形態を工夫しながら食事は食べているにもかかわらず、体重もみるみる落ちていくのがわかり、入れ歯だけの問題で低栄養になっているわけではないと思われましたが、病院に行って検査を受けようにもじっと待つこともできないので、と受診もできないそうでした。そんな中いつも歯科に付き添ってこられていた患者の父親ががんで急逝し、母親と妹が付き添ってくるようになりました。明らかに患者の介護をすることに耐えきれなくなった様子で、このままでは患者のみならず母親、妹も共倒れ

するのではないかと心配です。その患者の通所している施設に私どもが歯科検診で関わっているため、普段の生活の様子も定期的に知ることができ、患者と家族が当院にも定期的に通ってくださるので、情報共有しながら関わっております。しかし、この方のように生活の様子を知っていけることはまだまだ少ないです。

今後2040年問題と呼ばれる、高齢者や有病者、障がい者の増加と、対応する医療介護職の深刻な不足が起こることがわかっております。今後一気に加速する問題に対し、今から地域で手を取り合いながら少なくなる専門職で地域住民のQOLを保ちつづけられるよう、このアニュアルレポートで私どもの取り組みや得意なことについて公開して知っていただき、つながりあうきっかけになれば幸いです。

当院は毎年10名以上の研修歯科医や歯科衛生士実習生を受け入れる教育機関でもあるため、後進へも知識や経験を伝え、将来の地域に貢献できる人材育成にも尽力して行きたいと思っております。

■ 西中村 亮 (歯科医師)

略 歴

- 2006年 広島大学歯学部卒業
- 2007年 公立みつぎ総合病院歯科
- 2009年 ひまわり歯科(現医療法人社団湧泉会ひまわり歯科)入社
- 現 在 日本歯科麻酔学会認定医
日本障害者歯科学会認定医
歯科医師臨床研修指導歯科医



副院長、リスクマネジメント部門部長の西中村です。私は歯科麻酔学を学び、全身麻酔や静脈内鎮静法を施術する等の全身管理を担ったことのある経験から、院内の「医療安全」・「患者安全」の責任者として、患者様およびスタッフの安全、医療事故予防、感染対策等について長年取り組んでまいりました。

特に昨今はコロナウィルス感染症の大流行により患者様やスタッフの感染対策に対する意識が向上したり、様々なニュースや事件で企業や業界の安全性・品質管理に対するガバナンスが注目されたりする等、歯科医療機関においても安心・安全な医療提供体制が構築されているかが問われる時代となりました。今後もより一層の安全性の向上を目指していく思いです。

医院規模が大きくなってくると、経験年数も年代も職種も違う人が増え、安全意識の統一を行うことが難しくなってきます。以前より私は院内で年に複数回の医療安全講習会を開催し、全スタッフに患者安全のための知識・技法の普及に努め、また随時、医療事故防止のためのシステム作りに関わってまいりました。この経験を生かし、2023年には当院において開催された「歯科医師臨床研修指導歯科医講習会」の中で、日本全国から参加された他院の

歯科医師に対して患者安全の講習を行いました。

また、2023年は防火管理に係る自衛消防訓練を立案・指揮し、歯科診療所で行われることは全国的にも珍しい避難訓練を実施し、消防署の方と連携し、火災・地震等の非常事態時の動きを確認しました。

当院では歯科麻酔専門医の常勤化に伴い、全身麻酔件数・静脈内鎮静法件数がともに急増し、施設基準も満たしたため、この度、日本歯科麻酔学会の準研修機関にも認定されました。歯科麻酔をかじったことのある私としても、歯科治療恐怖症や異常嘔吐反射、障害を持たれた方のような通常歯科治療が困難な患者様が頼れる歯科診療所になっていくことは喜びです。

高齢者が急増すると同時に社会機能を担う働き手が減少する「2040年問題」を抱える日本において、高齢者でも安心して通院できる、職員は安全に働ける、専門医による高度な医療が受けられる「地域支援型多機能歯科」として当院は動き始めています。私は今年、日本歯科麻酔学会の「地域支援型多機能歯科推進ワーキンググループ」の委員の一人に任命されました。今後も院内外で皆様にとって喜ばれる歯科医療を目指してその職務を果たしていきたいと思っています。

■ 前川 友紀 (歯科医師)

略 歴

2005年 広島大学歯学部卒業

2012年 ひまわり歯科(現医療法人社団湧泉会ひまわり歯科)入社

現 在 日本障害者歯科学会認定医
歯科医師臨床研修指導歯科医



副院長の前川友紀です。一般診療に加えて、矯正治療と精密な根管治療に従事しています。

ひまわり歯科では患者様が、最後まで自分の口で食べられるように、外来での一般診療に加えて食べられる外来や、高齢者や有病者への訪問診療含めた摂食嚥下の診療などを通して医院全体で取り組んでいます。その中でも私は特に、矯正治療や小児の診療を通じて、健康な身体づくりを小児期からしていくためのアプローチをしています。

患者様の年代に応じて、歯科での必要な関わり方は変化していきますが、成人期に理想的な口腔内の状態や全身の健康状態をキープしたり、壮年期以降に加齢により機能が低下していくスピードや変化度合いをなるべく緩やかにしていくためには、身体づくりをしていく乳幼児期～小児期に、どれだけ発育・発達の状態を理想的なラインに乗せてあげるかが重要だと思っています。遺伝的要因だけでなく、育児の環境や口周りを含めた筋肉や身体の使い方次第で子ども達の発達の軌道は大きく変わっていきますので、正しい発達のレールに乗せてあげるサポートを診療を通しておこなうことの大切さを痛感しています。

具体的には、妊婦さんや乳幼児を子育て中の保護者に対して講義形式で知識をつけていただいたり、離乳食教室で食べ方の指導や栄養の指導をおこなったり、そもそも矯正治療が必要にならないように、口周りの筋肉の使い方、舌の位置などの指導(OMT)、身体の使い方の指導、お口ぼかみを予防して鼻呼吸を獲得させるなど、歯科医師だけではなく歯科衛生士や管理栄養士などとも協力して取り組んでいます。また、すでに治療という形で介入が必要となった場合にも、ただ歯並びを整えるだけではなく、原因となっている間違った筋肉の使い方や、癖を排除して、後戻りの少ない安定した歯並びを獲得できるような診療を心がけています。

矯正治療としては、従来のワイヤー矯正に加えて、マウスピース矯正を2022年末から導入し、2023年の一年を通じて約100名の患者様に新たに治療をスタートしていただき、大変好評です。小児期の関わりについては今後さらに新しい仕組みを構築しバージョンアップさせていく予定です。どの年代の患者様が来られてもただ歯を治すだけではなく患者様おひとりおひとりの健康づくりに寄与できるよう、当院の強みを活かした関わりができるように尽力していきたいと思っています。

